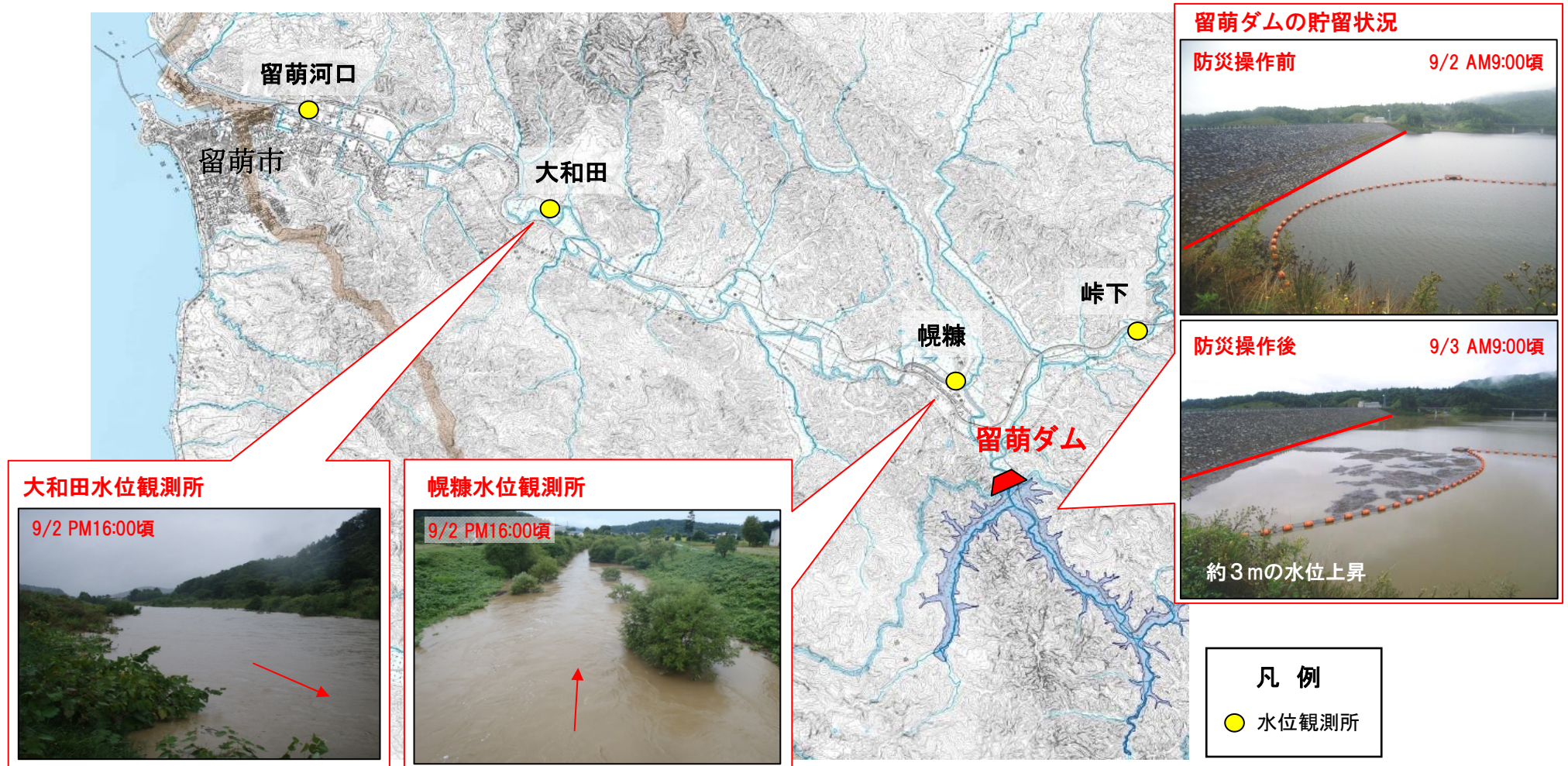


留萌ダムの防災操作効果について

平成23年9月2日から降り始めた雨により、留萌川の上流にある留萌ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

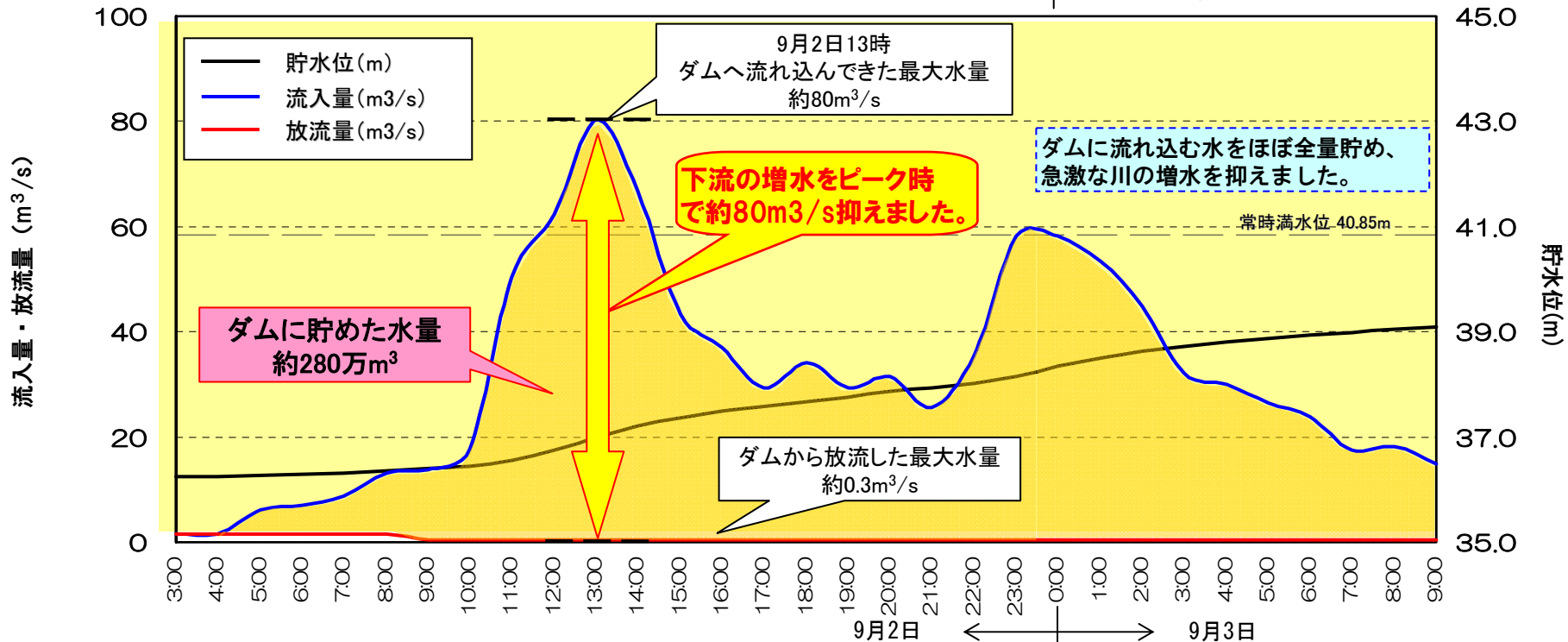
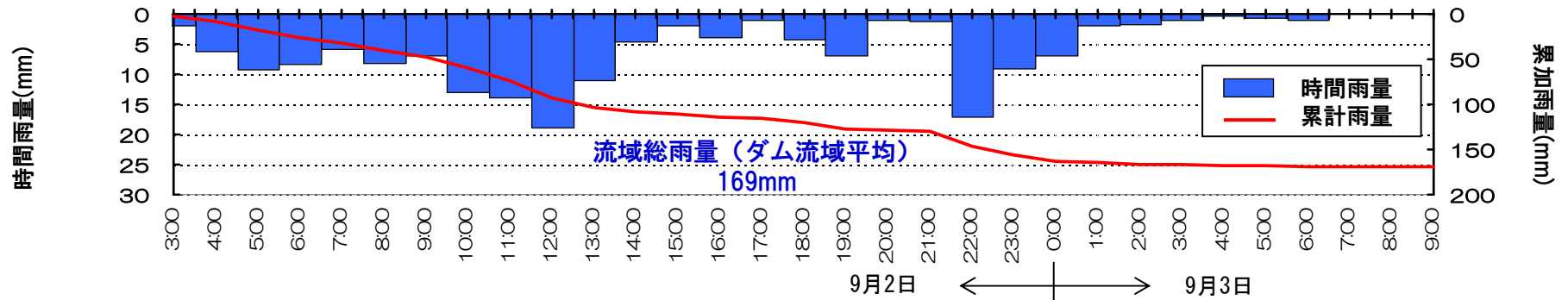
ダムに流れ込んでくる水をほぼ全量貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、留萌市幌糠（幌糠水位観測所）付近の水位を**概ね1 m程度低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

留萌ダムの防災操作状況

今回の出水において、留萌ダムでは、最大で毎秒約80m³の流入がありました。それに対しほぼ全量の約280万m³（札幌ドーム約1.8個分）の洪水をダムに貯め込み、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。

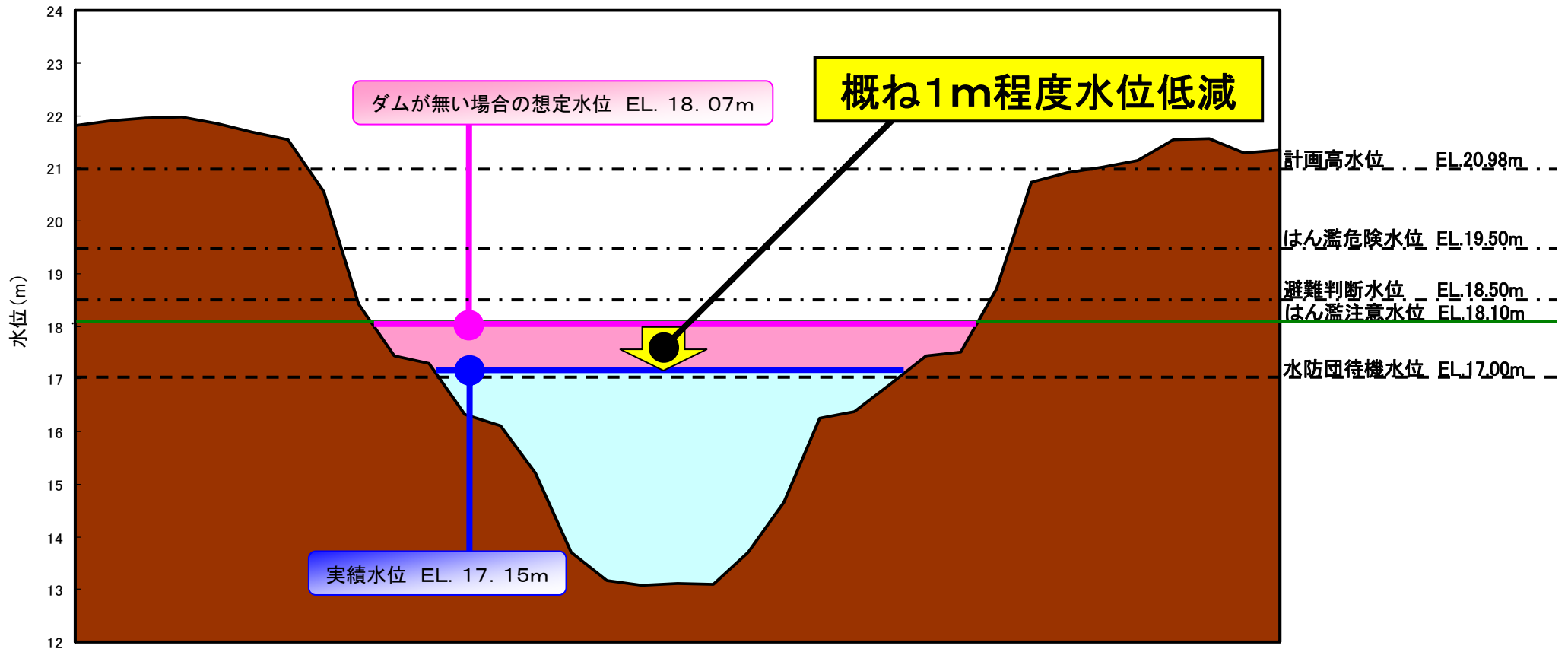


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

留萌ダムによる水位低減効果（幌糠水位観測所地点）

留萌ダムの防災操作により、留萌市幌糠（幌糠水位観測所）付近の水位を**概ね1m程度低減**させたと想定されます。これにより「はん濫注意水位」に達する水位上昇を抑制したと推測されます。

◆幌糠水位観測所地点（留萌下流約2 km）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。